

前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策：02 みんなで進める健康づくり

施策担当職・氏名	総括主査兼総括保健師 滝田 律子
-----------------	------------------

1. 施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>個人の健康は、家庭や学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから、社会全体として個人の健康を支えていけるよう、地域で中心となって健康づくりをすすめる「健康づくり支援者」の養成や育成に努めます。また、地域と連携した健康づくりをすすめるため、話し合いの機会や協働した健康づくり事業を実施します。</p> <p>平成28年度は、精神保健ボランティアの養成を実施しました。</p> <p>※健康づくり支援者：保健推進員、食生活改善推進員、運動普及推進員、精神保健ボランティア</p>
--	---

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数 単位 回	87	87	88	89	90	91	A	
			86	174	-	-	-	2,175.0	
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	D	
			58.2	55.8	-	-	-	△45.7	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1	777 保健推進員設置事業 保健推進員企画健康教室実施回数 単位 回	目標値	27	30	30	30	30	30
		実績	27	33	32	33	-	-
2	2277 健康づくり事業 健康づくり推進協議会会議開催回数 単位 回	目標値	2	2	2	3	2	2
		実績	2	2	2	3	-	-
3	2966 食生活改善・運動普及推進員養成、育成事業 食生活改善推進員数 単位 人	目標値	119	130	115	115	120	120
		実績	110	105	107	104	-	-
4	11371 地域健康づくり支援事業 取り組みをする自治会の数 単位	目標値	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	-	-
	単位	目標値						
		実績						

前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 06 笑顔輝く健康づくりへの支援

施 策 : 02 みんなで進める健康づくり

施策担当職・氏名 総括主査兼総括保健師 滝田 律子

2. 施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり支援者のうち、運動普及推進員は5名増加し活動基盤が強化され、食生活改善推進員は高齢化により年々減少。 各健康づくり支援者の合同研修会を3回開催し、資質の向上と連携を強化し、地域での健康づくり事業の回数が増加。 自治会毎に開催している「地域健康づくり連絡会」により、自治会役員等の住民や健康づくり支援者、市役所職員が一同に会し、滝沢市の健康統計や健康課題について共有する事ができました。 健康づくり支援者の登録人数は保健推進員85人、食生活改善推進員104人、運動普及推進員66人、精神保健ボランティア21人と合計276人で、複数の推進員を兼ねている人もいますが、実人員は197人と昨年度より1人増員しています。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
	<p>【重点課題】地域との連携を強化した健康づくりの推進</p> <p>【重点課題に対する達成状況】・精神保健ボランティアの養成を行い、5名が修了しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり支援者は合同研修会3回により連携を強化し、地域における健康づくりを実施できました。 地域健康づくり連絡会により、健康づくりの地区ごとのスローガンの決定や取り組みを協議し、地域によっては各がん検診の受診率の向上等の成果が現われています。 地域健康づくり支援事業は、室小路自治会において子ども会と連携し若い世代の健康づくりを実施しました。

3. 施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録しているボランティアの高齢化により、登録者数が横ばいです。 超高齢社会に向けて、個人の健康づくりばかりでなく地域で声をかけあえる環境作りが必要です。 <p>【内部環境】ボランティア養成講座を修了後、ボランティア登録をしない方もおり、個人が無理なく活動できる活動体制の検討が必要です。</p>

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
	<p>市民が幸福を実感するための条件として「心身の健康」「家族」が上位であり、これを満たすための地域での健康づくりは重要な施策です。</p>

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

	<p>【今後の方向性】超高齢社会に向けて、健康寿命の延伸を目標に、個人ばかりでなく家族・地域ぐるみでの健康づくりを目指し取り組みを進めます。</p> <p>【引き継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり支援者の高齢化がすすみ、活動者数の減少がみられます。また、健康づくり支援者の養成講座の参加者が減少していることから、健康づくり支援者等健康づくりに関わる市民の増員が出来るよう、内容や活動の再編が必要です。 平成25年度から実施している「地域健康づくり連絡会」において、平成28年度は、各自治会毎の健康スローガンや取組の協議をしていますが、総合計画内健康福祉部門計画の平成30年度施策において「健康づくりに関する宣言」を予定しており、今後、超高齢社会に向けて、個人ばかりでなく家族・地域ぐるみでの健康づくりを目指し、地域のスローガンをまとめた形で「地域発信型」の宣言をしていく必要があります。
--	--

